



【フィリピン・タリサイ市の行政官が本市の河川水位計を視察する様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 9 月 21 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

フィリピン共和国メトロセブから 災害リスク管理を担う行政官が来日、 横浜の洪水対策に関する経験 に学びました

横浜市内の中小企業（株式会社ユニメーションシステムとカーボンフリーコンサルティング株式会社）が JICA からの委託を受け、洪水対策が喫緊の都市課題になっているフィリピン・メトロセブのタリサイ市において、河川水位警報ユニットによる防災システム構築に関する調査を行っています。



この調査の一環で、8月上旬にタリサイ市から災害リスク管理を担う3名の行政官が来日し、風水害対策を中心に横浜市の危機管理体制や道路や河川の洪水対策に関する取組、横浜市内に導入されている河川水位警報ユニットの活用方法について学びました。

横浜市総務局からは危機管理室を中心とした関係機関との連携体制や、昨年度の水防法等の改正に基づいた要援護者利用施設の避難確保計画の作成を促進する取組が紹介されました。

消防局からは消防司令センターが毎日700件を越える市民等からの通報を市内18消防署・78出張所に指揮連絡する体制等の紹介がありました。

道路局からは市内62か所に設置してある河川水位計や20か所の道路冠水警報機器を活用した市民へのリアルタイムの警報システムの紹介がありました。

タリサイ市担当者からは、同市でのコマンドセンター整備計画について言及があり、整備計画の実現に向けた闊達な質疑応答や意見交換が行われました。



横浜 F・マリノスの試合で、 Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 と連携して「第7回アフリカ開発会議」を PR しました

8月15日に日産スタジアムで開催された横浜 F・マリノスの試合に合わせて、「アフリカンステージ」の実施やブース出展、試合のハーフタイムでのピッチ周回を行いました。

試合前の「アフリカンステージ」では、コンゴの伝統音楽演奏家3名とカメルーンダンサー1名のエンターテインメントグループが出演し、アフリカの強力なビートの音楽とダンスで、会場を盛り上げました。



紹介ブースでは、TICAD7 横浜開催の PR グッズを配布するとともに、訪れた方々にマラウイ出身のアフリカ留学生とコミュニケーションをとりながら、アフリカの伝統楽器ジャンベを体験していただきました。

また、試合のハーフタイムでは、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2018 とともにピッチ周回を行い、TICAD7 横浜開催を観客に向けて PR しました。



国際局にインターンが来ました

8月20日から24日までの5日間、国際局で1名の学生がインターンシップの実習を行いました。本市の国際事業について学んだり施設を見学したりして、充実した勉強ができました。

